

資料④

過去の申請実績及び
事業・講評内容

団体名： 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑
法人設立日： 平成30年（2018年）12月12日
団体登録： 令和元年度（2019年度）～

	今回の申請	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
事業名	幼稚園退園後の 親子の居場所づくり事業	申請 なし	放課後の子どもの居場所 「放課後クラブあおむし」作り事業	放課後の子どもの居場所 「放課後クラブあおむし」作り事業	放課後の子どもの居場所 「放課後クラブあおむし」作り事業
内 容	地域の幼稚園退園後の居場所を運営する。 ・実 施 日：火・木 ・実施時間：14時30分～17時00分		地域の児童の放課後の居場所を運営する。 ・実 施 日：月～金 ・実施時間：15時00分～17時30分 10時30分～17時30分／三季休業時	地域の児童の放課後の居場所を運営する。 ・実 施 日：月～金 ・実施時間：15時00分～17時30分 10時30分～17時30分／三季休業時	地域の児童の放課後の居場所を運営する。 ・実 施 日：月～金 ・実施時間：15時00分～17時30分 10時30分～17時30分／三季休業時
対 象 者	地域の幼稚園児がいる世帯		地域の幼稚園児がいる世帯	地域の幼稚園児がいる世帯	地域の幼稚園児がいる世帯
実施場所	法人事務所		法人事務所	法人事務所	法人事務所
申 請 額	320千円		350千円	300千円	300千円
内 訳	ボランティア人件費,印刷製本費, 消耗品費,講師謝金等		ボランティア人件費,印刷製本費, 消耗品費,講師謝金	ボランティア人件費,印刷製本費, 消耗品費,講師謝金	ボランティア人件費,印刷製本費,消耗品費
決 定 額 (確定額)	－		350千円 (350千円)	240千円 (240千円)	300千円 (278千円)
講 評	－		事業単独の収益性は乏しいが、公的制度が利用できない児童を支援する公益性の高い事業である。過去の指摘を受け、利用者から登録料を徴収するなど事業の自立性を高める努力を評価する。 当該事業の情報発信・PRを活発にし、事業理念に共感を持つ企業等から寄付金や助成金を獲得し、更なる事業継続にかかる負担軽減に努めていただきたい。	申請法人が実施する他事業からの経費補完で成り立っている印象を受ける。事業の継続性の確保のため、利用者負担の見直しや運営方法を再考する必要がある。また寄附を募る等の財源確保策も必要である。 事業の自立性を確保するべきであると考え、利用者の月会費を500円増額することを想定し、補助申請額から60,000円減額し、240,000円を交付する。補助金の範囲内で利用者負担額等を検討いただきたい。	放課後の児童の居場所づくりとしての事業内容は公益性があり評価できるが、事業運営経費の継続性に課題を感じる。 法人の人員体制、参加者会費、三季休業期間の運営等について、見直しを検討していただきたい。
その他					

団体名： 特定非営利活動法人陽だまりの会
法人設立日： 平成11年（1999年）9月3日
団体登録： 平成20年度（2008年度）～平成23年度（2011年度）,令和４年度（2022年度）～

	今回の申請	令和4年度
事業名	精神障害者に関する地域交流事業（講演会と交流会）	精神障害に関する地域交流事業
内 容	(1) 地域ふれあい祭り及びもちつき大会の開催 市民と障害者の交流の場として、模擬店等のイベントを開催する。 (2) 講演会又はシンポジウムの開催 精神障害に関する講師を招聘し、講演会を開催する。	(1) 地域ふれあい祭り及びもちつき大会の開催 市民と福祉事業所利用者が交流できるイベントを開催する。 (2) 講演会又はシンポジウムの開催 精神障害に関する講師を招聘し、講演会を開催する。
対 象 者	市内在住・在学・在職で、障害者の問題や社会問題に関心のある人	(1) 一般市民 (2) 障害者の問題や社会問題に関心のある人
実施場所	(1) 法人事務所敷地内 (2) 市内の貸会議室（ラポールひらかた等）	(1) 法人事務所敷地内 (2) 市内の貸会議室（ラポールひらかた等）
申 請 額	295千円	350千円
内 訳	講師謝金,消耗品費,印刷製本費, 通信運搬費,会場使用料,備品購入費	講師謝金,旅費交通費（講師分）,消耗品費,印刷製本費, 通信運搬費,保険料,会場使用料,備品購入費
決 定 額 （確定額）	—	350千円 （確定前）
講 評	—	精神障害者に対する社会的理解への取り組みは終わりがなく、継続性が特に必要な事業と考える。本事業の目的が市民や他団体へ伝わるように、多様性やダイバーシティの観点を持った事業の運営や周知を期待する。消耗品と備品の購入にあたっては、事前に購入予定物の単価や個数の明細を提示すること。 団体希望寄附70,000円は、次年度へ繰り越すものとする。
その他		

団体名： 特定非営利活動法人ハーモニークラブ
 法人設立日： 平成31年（2019年）3月18日
 団体登録： 令和元年度（2019年度）～

	今回の申請	令和４年度	令和３年度	令和２年度	令和元年度
事業名	えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業	えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業	えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業	えほんライブ事業	えほんライブ事業
内 容	(1) 法人が参画する団体主催のイベント等で えほんライブや体験型活動を実施。また、 ボランティア体験講座を開催する。 (2) 保育や教育の情報交換等の場として、 保育サロンを開催する。	(1) 法人が参画する団体主催のイベントで えほんライブや体験型活動を無料実施。 (2) 子育て支援関係者を対象とした保育 オンラインサロンを運営する。 (3) ボランティア体験講座を実施する。	(1)・(2) 子育てに関するイベント等で えほんライブや体験型活動を無料で実施する。 (3) オンライン保育サロンを無料で開催する。	(1) 保育園の地域開放日等のイベントにおいて 無 料でえほんライブを上演する。 (2)えほんライブに関するオンラインサロンを 無料で開催する。	保育園の地域開放日等のイベントにおいて無料で えほんライブを上演する。
対 象 者	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者・ 一般市民 (2) 子育て支援関係者・保護者・学生等	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者 (2) 子育て支援関係者 (3) 一般市民	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者 (2) 一般市民 (3) 子育て支援関係者	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者等 (2) 子育て支援関係者	幼児・保護者・子育て支援関係者等
実施場所	(1) 子育て支援施設・野外イベント・ 市内小学校等 (3) オンラインまたは市内公共施設	(1) 子育て支援施設・野外イベント (2) オンライン (3) 市内公共施設	(1) 子育て支援施設 (2) 野外イベント (3) オンライン	(1) 子育て支援施設の野外イベント (2) オンライン	子育て支援施設の野外イベント
申 請 額	320千円	300千円	80千円	61千円	60千円
内 訳	ボランティア人件費・交通費, 講師謝金,施設使用料,消耗品費,印刷製本費等	ボランティア人件費・交通費, 講師謝金,施設使用料,消耗品費,印刷製本費	ボランティア人件費・交通費,講師謝金	ボランティア人件費・交通費,その他謝礼金 通信運搬費,印刷製本費,消耗品費,著作使用料等	ボランティア人件費・交通費,施設使用料, 通信運搬費,印刷製本費,消耗品費,著作使用料等
決 定 額 (確定額)	－	300千円 (確定前)	80千円 (80千円)	61千円 (61千円)	60千円 (42千円)
講 評	－	他団体からの助成を受けるなど法人の自立に向け た賛同者を増やす取り組みを評価する。 本事業の効果検証については、大学と協働で得た 知見やノウハウを活かし、学生や他団体と協力し 実施することを期待する。本事業の自己肯定感を 育成する点を効果的に発信し、次世代の担い手を 育成することが重要であり、事業収益につながる 取り組みを行うことが必要と考え、次年度以降の 発展性に期待する。	SNSの活用により積極的に情報発信を行う点や 大学生などの外部組織と連携を行う点を評価す る。過去に本補助金制度の適用を受けた既存事業 を発展させた申請であるため、出演者の人材育成 を行い、当該事業の自立を目指すことを期待す る。 事業の自立に向けて、質の高いパフォーマンス を提供することに対する報酬を受益者から徴収す ることを検討されたい。	SNSの活用等の情報発信性を評価する。えほん ライブによる効果を客観的な数値により公表・発 信することにより、協賛・寄附を得ることができ ると考える。 クラウドファンディングの活用等のさらなる財 源確保について検討していただきたい。	有償事業を実施する等の運営の堅実性や、子ど も食堂等の他の実施主体との連携している点、情 報発信に各種手法を用いている点を評価する。 また、保育士を目指す学生を受け入れる等の事 業の発展性について期待する。今回の事業実施結 果を検証し、今後の事業の拡大に努めていただき たい。
その他					

